

令和5年5月12日

学生 各位

学長 北島 己佐吉

教育研究上における Chat(チャット)GPT 等の利用に関する注意事項

「ChatGPT」などの人工知能（AI）を使った対話型ソフト（生成系 AI）の利用が急拡大しています。これまでにはないスピードで進化を遂げる言語 AI は、今後あらゆる領域に活用されていくことが予想されます。多方面での活用が期待される一方で懸念も多く、教育現場での適切な利用が求められています。

本学では建学の理想・理念に基づいた人材育成を行い、各学部において定める教育目標及び教育課程に沿って必要な学修成果を修めた者に学位を授与しています。AI 技術を使ったサービスを教育研究の場で利用することによって、学習の効率化・個別最適化などの学習効果が期待できますが、活用方法を誤ると、自身の知的能力の成長を妨げることにもなりかねません。

教員の指示をよく理解し、自分自身でもよく考えた上で、上手に AI と付き合いください。その利用に当たっては注意すべき重要な点がいくつかあります。学生のみなさんは、以下の諸点に特に注意してください。

1. 生成系 AI（ChatGPT 等）を使うことの可否の見極めには、講義の内容、進め方、それぞれの場面で慎重な検討が必要です。担当教員の許可を得ずに生成系 AI のみを利用して、各種課題のレポート、論文、作品等を作成した場合は、使用の程度や内容によっては盗作・剽窃（ひょうせつ）であると判定されることもありますので、その点に十分注意してください。
2. 生成系 AI によって出力された情報を鵜呑みにすることは危険です。質問に対して必ずしも正確な内容が返ってくるわけではない点に注意が必要です。学習等で利用する際は回答の真偽を常にしっかりと確認することを心がけてください。この確認作業は、生成系 AI の利用を深い学びにつなげていくための重要な作業です。
3. 生成系 AI の利用にあたり、機密情報や個人情報などを入力すると、そのデータが生成系 AI の学習データとして使われるリスクがあるため、入力には十分な注意が必要です。また、情報セキュリティ対策が十分に講じられていない環境下では、情報漏洩のリスクがあることにも注意してください。

「教育研究上における Chat（チャット）GPT 等の利用に関する注意事項」は今後順次改訂される予定です。今後の大学からのメッセージにも注意して下さい。

以上